

令和元年度第2回松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事要旨

日時：令和2年2月7日（金）9：00～11：00

場所：松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席者：柳澤委員（会長）、藤村委員（副会長）、池澤委員、小川委員、渋谷委員、村山委員

○議事

- (1) 前回議事の確認
- (2) 公共施設再編整備基本計画の進捗管理等について
- (3) その他

(1) 前回議事の確認

事務局より、「資料1：令和元年度第1回松戸市公共施設再編整備推進審議会議事要旨」について説明を行った。

(2) 公共施設再編整備基本計画の進捗管理等について

①公共施設カルテ及び施設評価（案）について

事務局より、「資料2：個別施設計画の策定に向けた全体スケジュール（案）」、「資料3：公共施設カルテ及び施設評価の構成（案）」について説明を行った。

<主な意見>

- 施設機能に係る評価を行う際、施設種別によって着目すべき視点が異なると考えられる。したがって、各施設の機能や利用状況等を踏まえて評価指標を設定する必要がある。
- 公共施設カルテ（以下、「施設カルテ」という。）及び施設評価について、対象施設の現況のみではなく、各施設の施策や現時点で想定している再編整備の方向性を踏まえて更新・改修等を行った場合のコストや施設規模の試算結果を示していくことが考えられる。
- 建物性能の評価に当たり、残耐用年数や耐震化の状況等の躯体状況に関する項目だけでなく、エネルギー性能や環境への配慮等に関する項目を追加して評価を行っていくことも考えられる。
- 地域別データの整理に当たり、地域内の公共施設について、減築・複合化・廃止等により、総量削減を図った場合の住民1人当たりの延床面積を示すことが考えられる。
- コストについても現状維持を前提とするのではなく、エコ改修によるランニングコストの縮減等、今後複数のケースを想定したシミュレーション結果が反映されると良いと考える。
- 総合評価における評価の視点に「民間参入の可能性」とあるが、民間参入の可能性は、建物性能や空き状況等のみでは判断できないため、今後民間事業者へのヒアリング等により、民間ニーズの把握を図る必要があると考える。
- 施設カルテや施設評価は、持続可能なデータベースとして長期的に運用・更新していく

ことが最も重要である。したがって、まずは各施設の所管課が正確に把握可能な基礎的な施設情報を着実に積み上げることを意識して作成し、今後、将来ニーズに合わせて柔軟に変化させていくことが望ましいと考える。

- 施設カルテの更新が事務作業にならないように配慮する必要がある。施設カルテに整理した施設情報を再編整備の方向性の検討する際に有効に活用していくことが重要である。
 - 施設カルテの作成・運用や個別施設計画の策定と並行して、事務局として公共施設全体の再編整備の推進に係る方針を明確にした上でモデル地域等を対象に具体的な検討・取組みを推進していく必要があると考える。
 - 事務局として再編整備の方向性を明確にすることで施設カルテや個別施設計画を作成する上で必要な要素が分かりやすくなると考えられる。
 - 病院施設の施設機能に係る評価指標として「病床稼働率」を設けているが、各病院の医療機能によって考え方が異なるため、施設機能の横断的な評価指標として用いることは望ましくないと考える。
 - 複合施設については、導入機能によって利用状況等が異なるため、機能ごとに施設機能に係る評価指標を設定することが望ましいと考える。
 - 市民利用施設について、諸室の機能によって稼働率の水準が異なることから、施設全体の稼働率だけでなく諸室ごとの利用状況を踏まえて方向性を検討する必要がある。
- 施設カルテは、各施設の基礎データを横断的に示すデータベースとして活用することを想定している。各施設の再編整備に係る具体的な方針については、施設カルテをもとに実施する施設評価の結果等を踏まえて、各施設の所管課を中心に検討していく方針である。
- ソフト評価については、施設機能・利用状況等が類似している施設ごとに評価指標を検討している。今後、各施設の再編整備の方向性の検討や施設評価の運用を図っていく中で、必要な項目を整理し、適宜評価指標を精査していきたい。
- 複合施設については、導入機能ごとにソフト評価の指標を設定し、基礎評価を行う予定である。また、施設カルテでは施設の利用状況として諸室ごとの稼働率を示した上で再編整備の方向性を検討する予定である。

②個別施設計画全体構成（案）について

事務局より、「資料４－１：個別施設計画全体構成（案）」、「資料４－２：個別施設計画対象施設」について説明を行った。

<主な意見>

- 個別施設の再編整備計画については、各施設の建物性能だけではなく、利用状況等の施設機能や地域特性、コストの平準化の視点を踏まえて検討していく必要があると考える。
- 各施設のマネジメントの方向性を示す際には、更新・大規模改修等に加えて、減築・複合化・用途変更等、より具体的な方向性が示せると良いと考える。

- 個別施設計画は各施設の所管課が作成することになっているが、公共施設再編課が対象施設の全体最適化の視点で、対象施設に係る方向性の大枠を示す等、包括的にコントロールしていく必要があると考える。
 - 所管課ごとに個別施設計画を策定する場合、複合化や施設間の連携等に係る検討が行われにくいと考えられるため、公共施設再編課が所管課間の調整を支援する役割を担う必要があると考える。
 - 個別施設計画では、再編整備に係るハード面の方向性だけでなく、再編整備を実施していく上での検討体制や市民参加活動の実施等、ソフト面の視点を踏まえた方向性についても示していく必要があると考える。
- 基礎評価では、個別施設の建物性能・施設機能・財務の客観的指標を用いて、公共施設再編課により各施設の再編整備の方向性を設定する予定である。また、基礎評価の結果を踏まえて各所管課が総合評価の検討を行い、検討結果について各所管課と公共施設再編課が調整する予定である。その後、公共施設再編課と調整した総合評価の結果を踏まえて、各所管課が個別施設計画を策定することを予定している。

(3) その他

①小金原地域における市民参加活動について

事務局より「資料5：令和元年度小金原地域シンポジウム開催結果（概要）」、「資料6：令和元年度小金原地域懇談会開催案内（概要）」、「資料7：小金原地域での今後の展開について」について説明を行った。

渋谷委員より小金原地域シンポジウム及び小金原地域小学校保護者対象アンケート調査の実施について報告を行い、小金原地域における今後の展開について補足説明した。

<主な意見>

- 現在、小金原地域では、公的空間の活用という視点から、公共施設を含めたまちづくりに関する検討を幅広く行っている状況である。今後は他の所管課との連携を含めて、地域の中で公共施設の再編に係る具体的な検討を行う上での体制の構築や庁内でのまちづくり部局等との役割分担の明確化を図る必要があると考える。
- 小金原地域小学校保護者対象アンケート調査における回答内容について、地域ワークショップ等で議論を深めていくことで、メリット・デメリットを踏まえた地域としての解決策を検討することに活用していけると考える。
- ワークショップ・シンポジウム等の市民参加活動の継続と併せて、具体的な公共施設を対象とした再編整備に係る取組みを先行的に実施できると良いと考える。
- 地域で公共施設の再編に係る検討を行う際には、人口減少や再編コストに係る課題等を説明するだけでなく、再編整備に伴う公共サービスの向上等、参加者にとってのメリットにつながる内容を共有した上で前向きな議論がなされると良いと考える。

- これまでのワークショップでは、事務局が設定したテーマについて参加者に自由に議論していただく方法をとることが多かったが、今後は公共施設の再編に係る具体的なシナリオを提示したうえで、詳細な検討を進めていっても良いと考える。

②次回開催予定

- 令和元年度第3回松戸市公共施設再編整備推進審議会のスケジュールは、後日調整する。

(以上)